

講演会

施設生活と発達障害との微妙な関係

～事例を通して支援策を考える～

パートⅢ

多くの児童福祉施設において施設職員等の支援者は、発達に様々な課題を抱える入所児童の対応や支援に日々苦慮し、疲弊する場面が増えていると聞きます。

児童精神科医師の立場から長年にわたり、児童養護施設、児童自立支援施設、児童心理治療施設、自立援助ホームなどの施設現場に実践的に関わっておられる田中康雄先生は、2012年からは「こころとそだちのクリニック むすびめ」院長として多くの子どもたちとの臨床現場のご経験からも「発達障害のある子ども達を応援するには、それぞれの生活力をきちんと把握している必要があります、善意と愛情だけでは彼らの生活を応援することは難しく一人ひとりにある特性も正しく把握しておく必要がある。」とされています。一昨年度のパートⅠでは「発達障害から生活障害を引き起こしてしまう子どもたちに、施設での生活においてどのような関わりが援助者に求められるのか！」等をご講演頂き、昨年度のパートⅡでは施設職員が疲れ果てないためにも「避けておきたい支援は何か！」についてのご講演と、するどい質問にも具体的にスーパーバイズして頂き、さらに理解を深めることができました。

今回のパートⅢでは、困難事例を検討することで課題を明確にし、皆様と一緒に「適切な支援策」について考えたいと思います。皆様のご参加をお待ちいたしております。

***とき** 平成28年9月25日(日) 13:00~16:30 (受付 12:30~)

***ところ** 大阪国際交流センター 2階 さくら東

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 8-2-6 ☎ 06-6772-5931



第Ⅰ部 講演

講師：こころとそだちのクリニック むすびめ 院長

13時~14時20分

北海道大学名誉教授・児童精神科医師

田中 康雄 氏

第Ⅱ部 事例説明

発表者：自立援助ホームそらまめ なでしこ

14時20分~14時45分

児童指導員

松岡 茜

第Ⅲ部 事例検討&質疑・まとめ

15時~16時30分

講師：こころとそだちのクリニック むすびめ 院長

田中 康雄 氏

コーディネーター：弁護士 いぶき法律事務所

岩佐 嘉彦 氏



田中 康雄 氏

講師プロフィール

こころとそだちのクリニック むすびめ 院長。北海道大学名誉教授。

児童精神科医師。臨床心理士。

市立土別総合病院精神科神経科医長、北海道立緑ヶ丘病院医長、

国立精神・神経センター精神保健研究所 児童・思春期精神保健部児童期精神保健研究室長、

北海道大学大学院教育学研究科教授、北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター教授

などを経て、2012年5月より こころとそだちのクリニック むすびめ 院長。

児童精神医学・臨床教育学を専門領域とし、「生活の困難さを修復するものの解明」を主な研究テーマとして

いる。主な著書に『支援から共生への道 発達障害の臨床から日常の連携へ』（慶應義塾出版会）、『発達支援の

むこうこちら』（日本評論社）、『イラスト図解 発達障害の子どもの心と行動がわかる本』（西東社）、

『「大人の発達障害」をうまく生きる、うまく活かす』（小学館新書）、『ADHDのある子を理解して育てる本』

(学研プラス) ほか多数。※当日、会場受付にて書籍を販売致します。(冊数に限りがございます)

*参加費 2,000円(資料代込)

*申込み 裏面の申込書に必要事項をご記入の上、事務局宛に**ファックス**または**E-mail**でお申し込み下さい。

定員をオーバーしたときのみご連絡を差し上げます。

ご連絡のない場合は、当日直接ご来場下さい。

*定員 130名(先着順)

*締切日 平成28年9月9日(金)

事務局

社会福祉法人大阪児童福祉事業協会 アフターケア事業部

TEL 06-6765-3400 担当 伊藤・小野

FAX 06-6765-3402

E-mail info@soramamail.or.jp



●近鉄「大阪上本町」駅⑭出口より南へ進む(徒歩約8分)

●地下鉄谷町線「谷町九丁目」駅⑩番出口より南へ進む(徒歩約10分)